発行月：令和　3年　5月　　家族新聞　　第665号

# 環境教育「まず、今できることから」

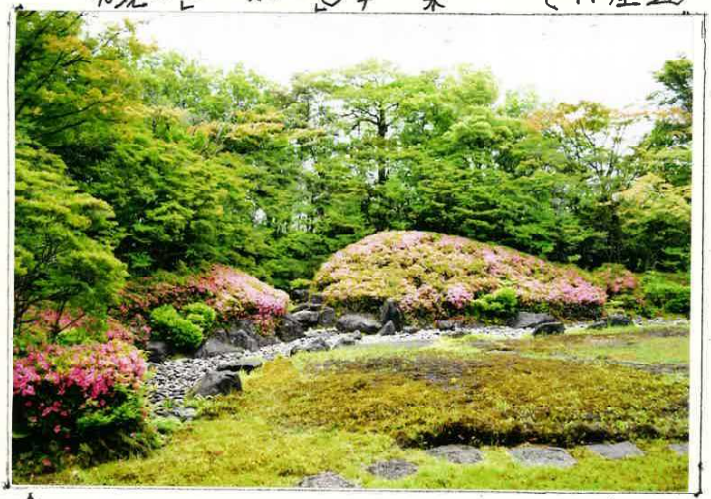
## 歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事　髙橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
（渋川福祉センター内）
TEL　0561-51-2878

### 国登録有形文化財建造物

### どうだん亭（満天星）

どうだん亭の母屋は、陶磁器輸出業を営んでいた浅井竹五郎氏の住宅の離れとして昭和7年に建てられました。岐阜県吉城郡坂下村（現飛騨市）にあった享保八年（1723）建築の合掌造民家を移築したものであります。



▲中庭

3階建てを2階建てに改造し、山荘風の近代数寄屋建築に再構築されています。庭園は、謡曲「紅葉狩」をモチーフに「宇福（松竹梅）」の中で「鶴（飛び石と枯れ池）」と「亀（築山）」が群れ遊ぶ様子が表現されています。

▶フダンアオイも新芽が出て訪問者をいやす待っている。

二〇五〇年に温室効果ガス排出量を実質ゼロにする政府の「グリーン成長戦略」浮上風力発電を脱炭素化の主軸に位置付け、「いなさ」「ならい」「はえ」「東風」日本には約二千の風の名があるそうだ。風に恵まれた環境ながら、日本のこの分野での取り組みはEUなどに比べ遅れていた。やっと風をつかまえたか、脱炭素化に向け風穴をあけたい。

達成までの道程は順風満帆とはいくまい。技術開発の難しさ、治岸漁業者との交渉など厳しい向かい風もあるだろう。国全体で強い追い風をおこし、安全でクリーンな風のエネルギーを集めたい。

◀私達を待つ石畳み

▶つつじが玄関正面の入口に…